

カワサキグループ・ミッションステートメント

川崎重工グループは、2007年5月に社会的使命、カワサキブランドの根幹にある価値観、グループ経営のあるべき姿、日々の行動指針を明記した「カワサキグループ・ミッションステートメント」を制定しました。当社グループは、「カワサキグループ・ミッションステートメント」の実践により、株主・顧客・地域社会をはじめとするステークホルダーの皆さまにとっての価値を創造し、企業価値の向上を図っていきます。



グループミッション [社会における使命]

「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」

川崎重工グループは、広汎な領域における高度な総合技術力によって、地球環境との調和を図りながら、豊かで美しい未来社会の形成に向けて、新たな価値を創造します。

カワサキバリュー [重きを置く価値：戦略・施策立案の立脚点]

価値創造：グローバル規模での社会・顧客の価値創造をカワサキバリューとする
 独自性：独自性・革新性・先進性をカワサキバリューとする
 最高品質：世界最高レベルの機能・品質をカワサキバリューとする

グループ経営原則 [グループ経営の指針、経営活動における原則]

- ① 高度な総合技術力に基づき、高機能・高品質で安全な製品・サービスの提供を使命とし、社会と顧客から信頼される。
- ② 事業展開のすべての局面において企業の社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する。
- ③ 誠実・活力・高度な組織力と労使の相互信頼を企業文化とし、グローバルに“人財”を育成・活用する。
- ④ “選択と集中”、“質主量従”、“リスクマネジメント”を指針とし、収益力と企業価値の持続的向上を図る。

グループ行動指針 [日々の業務遂行においてとるべき行動の指針]

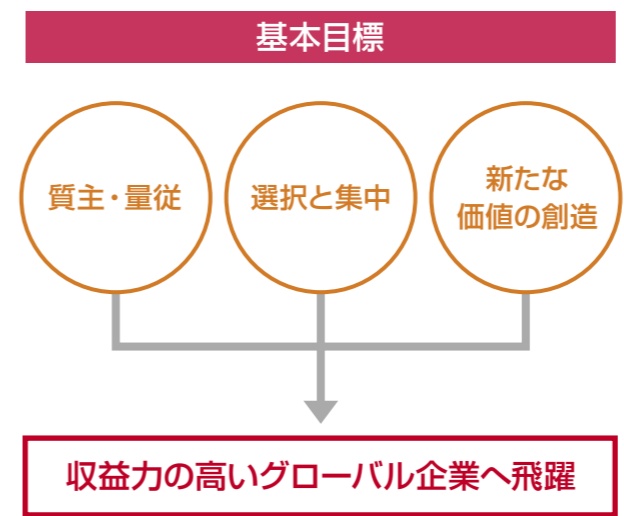
- ① 長期的・多面的・グローバルな視点に立って思考し、行動する。
- ② 革新を旨とし、高い目標を持って困難な課題に挑戦する。
- ③ 夢と情熱を持ち、目標の実現に向け、最善を尽くす。
- ④ 高い倫理観と優れた人格を持ち、社会と人々から信頼される企業人となる。
- ⑤ 自己錬磨を怠らず、自ら考え行動する「自主独立のプロフェッショナル」となる。
- ⑥ 誇りと喜びを共有する、「チーム・カワサキ」の良きメンバーとなる。

中期経営計画

2006年度から2010年度を対象期間とする中期経営計画「Global K」は川崎重工グループ全体および各事業領域の10年後のビジョンをまず策定し、そのビジョンに向かってグループが発展・成長するための前半期間に関する事業戦略をまとめたものです。

基本目標は「『質主・量従』『選択と集中』『新たな価値の創造』を経営の基本とし、中期経営計画期間中に収益力の高いグローバル企業へ飛躍すること」としていますが、4項目ある具体的な目標の一つに「CSR推進体制の強化による企業品質の向上」を掲げています。

また6項目ある重点施策の一つに「CSRの推進」を定め、「CSR活動の推進を行い、『内部統制の強化、コンプライアンスの徹底』『経営の透明性の向上』『リスクマネジメントの強化』『地球環境にやさしい事業運営』を中心に、従来の活動をさらに強化する」ことを目指し、経営品質の向上に努めています。



数量目標	
・収益力の強化 ・財務体質の強化	→ ・ROIC(資本効率)の向上 ・売上高経常利益率の向上
[2010年度の目標]	
・ROIC ^{※1} 14%	・売上高 1兆5,600億円
・経常利益率 5.8%	・営業利益 1,000億円
	・経常利益 900億円
・D/Eレシオ ^{※2} 100%以下	・自己資本比率 30%以上
株主利益還元 収益力の向上に即して順次増配 ^{※3}	
<small>※1 ROIC: 投下資本利益率=(税引前利益+支払利息)÷投下資本 ※2 D/Eレシオ=有利子負債残高÷自己資本 ※3 具体的には経営環境や投資の状況を勘案するが、中長期的な連結配当性向30%を基本とする。</small>	